



2 団 ニュース

ボーイスカウト新居浜第2団

平成27年

7月号

運はめぐる

命は先天的に賦与された性質能力ですから「天命」と謂い、またそれは後天的修養によって変化せしめられるもの、動くものという意味に於いて「運命」とも申します。運は「めぐる」「うごく」という文字であります。しかるに人はこの見易いことを見誤って、命を不運命、宿命、即ち動きのとれない、どうにもならない定めのように思い込んで大道易者などにそれを説明してもらおうとする。命は天命であると共にその意味では、「我よりなす」ものであり、自分から造るものであります。宇宙は時々刻々の新しい造化、創造、変化、ですから、常にいわゆる「義理再生の身」とならねばなりません。これを「知命」。

「立命」と謂います。

安岡正泰 監修 “安岡正篤一日一言” …心を養い、生を養う… より 立石育成会長

7月行事予定

※各隊の通信を確認ください(変更の場合もあります)

<団共通の行事>

26(土) 市民一斉清掃/別子山あめぐつかみ大会(25(土)準備)



<ビーバー隊>

5(日) 魚釣り
12(日) フォトフレームづくり

<カブ隊>

11(土) 組集会
18(土) 隊集会

<ボーイ隊>

5(日) 班長会議
18-19(土日) 訓練キャンプ
28~ WSJ

<ベンチャー隊>

4(土) VS会議/キャンプ(~5日)
11(土) 車いすボランティア/ビデオ制作研修(~12日)
12(日) 参禅会
18(土) 県ベンチャー会議

23WSJ

★いよいよ28日出発★

今月のうた

ローバーになりてベンチャースカウトを自ら進み陰で支える

保護者の皆様へ・スカウト情報

■スカウトハウス存続の危機！！

活動可能期限:平成28年3月31日まで

備品保管期限:平成29年3月31日まで

長年にわたり、住友鉱山のご厚意により星越社宅を活動拠点としてスカウトハウスという愛称で使わせていただいてきましたが、このたび、耐震性の問題から取り壊しが決定したそうです。

今年度末以降は、備品を保管および荷物の出し入れの際のみ立ち入り可能な状態になります。長年のご厚意に感謝しながらも、新たな【スカウトハウス】を探す必要があります。

つきましては、現在のスカウトハウスと同等な条件で長期にわたり使用可能な家屋(空家)もしくは、荷物の保管が可能な倉庫の所在に関する情報をお寄せください。付帯設備等、条件に関する詳しいことは・・・メールにて仲村までお問い合わせください

✉ => gen7kin@dokidoki.ne.jp

隊長からの活動報告



ビーバー隊：横井隊長

■5月31日(日) 新居浜市山根総合体育館にて、東予地域ビーバー合同集会を行いました。

今治、西条、新居浜、四国中央のすべてのビーバースカウト関係者 85 名が一堂に会し、午前中は全体ゲームや新居浜太鼓祭りにちなんだゲームを楽しみ、午後からはえんとつ山に登りました。参加者には、新居浜での楽しい 1 日を過ごせてもらえたと思います。ビーバー隊ローバー隊の皆様ご協力ありがとうございました。

■6月20日(土) 大島半周ハイクに出かけました。大島に住んでいる ヤギ ポニー ガチョウなどの動物探しの探検に出かけました。ヘビが出てきてドキリする場面もありましたが、幼い幼児たちもがんばって歩きました。船に乗り、きれいな海を眺めて、大島の自然を満喫しました。

カブ隊：中村隊長

■6/13 組集会：8月のオーストラリアスカウト ウェルカムパーティに備え、カブ隊スタンプを決めました。

初めは組ごとに分かれて話し合い、最後に全員が集まってそれぞれ発表。お互いの組アイデアをミックスし、一つにまとめました。

■6/20 組集会：前回の集会で決めた内容を組ごとに別れて進めました。

今回はスタンプに使う小道具製作です。何ができたかは・・・当日のお楽しみ！

ボーイ隊：横井^新隊長

■来月はいよいよ世界ジャンボリーとなります。総会でも申し上げたのですが、10日以上にもおよぶ大会を乗り切るためには、規則正しい生活が不可欠です。3食と水分をしっかりととり、排泄も定期的にする。休める時はしっかりと休む。熱中症や腹痛は上記のことが不十分なため起こるものです。残り1か月近くありますので、ご家庭でしっかりできるように生活しましょう。みなさんが満足して帰ってこられるように期待しています。

ベンチャー隊：仲村隊長

■今月は23WSJのキャンプや技能訓練キャンプなどキャンプが多い月でした。参加率は相変わらず悪いですが、キャンプの計画を立てたスカウトは友人スカウトが来ないことを知りつつ訓練キャンプに参加してくれました。彼らの頑張りを私は尊敬します。忙しい中で何とかして活動に参加してくれようとした2人のスカウトに弥栄を送りたいと思います。『12ヶ月連続キャンプチャレンジ3ヶ月目完了!!』

スカウトクラブ*新規メンバーご紹介

New Member ★ご支援ありがとうございます



◆森 ^{よしと} 好人様





私がキャンプで一番楽しかったことはご飯炊きです。

火のかげんなどが少し難しかったけど、みんなで炊いたご飯でカレーを食べたらとてもおいしかったです。今度のしゃえいも楽しみです。

やってみたい活動は段ボールでみんなが入れるくらい大きな家を作ることです。

何度かお父さんに作ってもらったことがあります。

それがとても楽しかったのでボーイスカウトの活動でもやってみたいと思いました。

(1組 石川日向子)

ほくは、くまキャンプに行くととても楽しかったです。

特に花火が楽しかったです。たくさんあってとてもきれいでした。

飯盒水さんもしました。火加減がよかったので、おこげができてふっくらご飯ができておいしかったです。

初めてテントで寝ました。寝ごころは、悪いかと思ったけど、案外気持ちよかったです。怖くもなかったです。

(1組 渡部航也)

キャンプの時に飯盒炊きをして、新聞をちぎってから、丸めたりしたのが心に残りました。

次はマリンパーク以外でもやりたいです。

(2組 高田隼杜)

僕は心に残ったことが、3つあります。1つ目は、飯盒すいさんのとき、木の棒でご飯の炊ける音が聞こえたことです。

2つ目はカレー、デザート、お菓子、UFOと、食べてお腹一杯になったことです。

3つ目はテントで初めて寝て懐中電灯で遊んだことです。

これからやってみたいことは、1年間テント暮らしがしてみたいです。く

(3組 塩崎颯汰)

富士スカウト修得にあたって

◆吉川直希さん

富士章取得のために、ちかいとおきてについて団委員長と話し合っただけ気が付いたことがあります。それは、ちかいとおきての意識の差です。おきては普段の活動や集会などでよく

唱えています。そのおかげか、ボーイスカウトの活動中はもちろん、学校生活の中や寮生活の中でも自然とおきてを心がけることが出来ている気がします。それと比べてちかいは僕の赤ではっきりと守れているということができません。団委員長との面接のときも、誓いの実行について質問されたとき、すぐに答えることができませんでした。「一、神と国とに誠を尽くし、おきてを守ります」「一、いつも、他の人々をたすけます」「一、からだを強くし、心をすこやかに、徳を養います」

今回の隊長との話し合いや面接のおかげで改めて3つのちかいについて考えることができました。これから富士スカウトとして、おきてだけでなくちかいについても、もっと意識していきたいです。

おきては心がけていることが出来ているといいましたが、僕が特に意識していることは「一、スカウトは誠実である」です。今まで班長や議長を経験してきて最も大切なことのように思います。ベンチャースカウトになってたくさんの人に出会いました。富士特別野営の隊長や班長、全国スカウトフォーラムのアドバイザーやスカウトたち、県大会で一緒になった先輩たち、僕が出会った頼れる先輩たちに誠実であることの大切さを学びました。班員、後輩から信頼を得るには、まず自分がなにごとに真剣に取り組まないといけないと思いました。遊ぶときは遊び、やらなければいけないことはまじめにやる。そういう切り替えが

ベンチャースカウトになり、自分たちの活動だけでなくボーイなど、後輩スカウトの奉仕をするようになりました。そこで実感したのが、自分のボーイスカウトとしてのスキルの低さです。いくら僕が誠実で、信頼できるスカウトだったとしても、技術がないと後輩たちはついてきてくれないと思います。今年は毎月一度は必ずキャンプをするという目標を立てたので、野外活動におけるスキルアップを目指したいと思います。

指導者や仲間にも恵まれてここまでこられました。関わってくれた全ての人に感謝したいです。

スカウトハウス清掃スケジュール

※当番日に参加できない場合は各自で交代をし、必ず責任者に連絡をしてください

【今月】7月5日(日)9:00~11:00

責任者:松本

VS:安藤 BS:三木雄・川崎

CS:鈴木・石川 BVS:小野・加藤(敬称略)

【次月】8月2日(日)9:00~11:00

責任者:白石

VS:富永 BS:神野空・小笠原

CS:石川寛・渡部 BVS:岡田・真井(敬称略)



県連での面接のときの1枚

写真左から一吉川直希さん、宮本夏樹さん、柴田和浩さん、三原明也さん、仲村元気さん
彼らの手記を中面他にてご紹介しています



広報委員会より 各隊隊長さんへ

2団ニュースの原稿は (各隊の活動報告、活動予定、活動アルバム等)

団委員会の翌日迄 をめやすに広報委員まで届けてください☆☆☆



団会議	7月9日(木)19:30~21:00	惣開公民館
地区委員会	7月15日(水)19::30~	5団本部
団委員会	7月21日(火)19:30~21:00	惣開公民館
広報委員会	7月25日(土)19:30~21:00	協働オフィス

☆2団ニュースの原稿は☆

↓ ↓ ↓
prjct39-bs@yahoo.co.jp

写真は活動の様子がわかるコメントや
エピソードをそえて送信ください

◆宮本夏樹さん

私の将来の抱負は、感謝の心を持った人間になることです。

日常生活で、自分より目上の人や関わりのある人と出会ったとき、私はただなんとなく形だけの会釈をするだけでした。そこには、朝早いから、とか昼食すぐだから、と理由をつけて面倒に思う心の他に、そこまでしなくてもいいのでは、という勝手な気持ちがあったように思います。もちろんそれでいいわけがありません。なぜなら、今の自分がいるのは周りの人たちが支えてくれた結果だからです。何気ない自分の善行を見てちゃんと評価してくださっていたり、自分の誤りを指摘してくれたり…。そこに立場の上下はありません。大勢の小さな思いやりがあって初めて自分の大きな成果があるのだということに気が付きました。だからこそ、彼らへ「おかげ様でした」と言うことが大切だと思い、その代わりに、今の私は立ち止まってしっかり頭を下げた挨拶をするのです。

今の私は、目上の人と話す時に思ったように話せないことがあります。その原因は、謙虚にならなくてはならない、きちんとした言葉で伝えなければならないという強い気持ちが空回りしてさらに緊張が増すからです。しかし、これでは自分の考えや思いを伝えられないままで終わってしまいます。だから、たとえ初対面でも、尻込みしないようになりたいと思い、「感謝のこころをもち、進んで挨拶をする」という課題を立て、日々実践しています。

ボーイスカウトは実社会でリーダーシップの取れる人材育成をしています。では、具体的にどのような人物が人を引っ張る力を備えているのか考えてみました。それは、例えば恥ずかしがらず、自ら進んで行動する意図や物怖じせずに話を切り出せる人。つまり、いつも胸を張って堂々としている人達です。感謝の心を持つことは相手を尊重していることと同義であり、それは「おきて」の「誠実」や「礼儀」「ちかい」の「いつも他の人々を助ける」に繋がっているのではないのでしょうか。

社会人になると、地区だけでなく、あらゆる場面で評価されます。傍若無人な性格では、だれもついていこうとはしません。徳を積む人は、自分に関わった人に対して泥を塗るようではいけないのだと思います。しっかりした自覚と技術。人柄。尊敬されている人には、そこに確かな理由があるのでしょう。

私は、これからも全く失敗しないというわけにはいかないでしょう。しかし、自分の行いに責任を持ち、胸を張って私を支えてくださった人々へ恩返しができる人間になります。

◆柴田和浩さん

正直、現在の自分には富士空くと修得を抱負にするという考えはおろか、その意義さえ見出せていません(大げさですが)。なので、富士章取得の第一条件であり、最も重要な要素である「ボーイスカウトを続ける」ということの意義についていくつか考えてみようと思います。

まず一つ目に思い浮かぶのはスカウト技能の体得です。これはボーイスカウトを続けていく中で、たくさんのスカウトが実感することだと思います。キャンプなどでの設営の技術、ソングの知識やその他さまざまな事柄にいたるまでも身に付けるには、長く続けて経験を積むことが大切です。

二つ目に、ボランティア精神の確立です。ボランティアは資本主義社会の日本ではとても貴重視されていて、ボーイスカウトはそれを行う手助けをしてくれます。もし、ボランティア活動を長く続けたら、奉仕の心が確立され、その結果普段の生活でも自然に人助けをすることができ、将来社会に大きく貢献することができると思います。

三つ目に人との深いかかわりの機会を得られることです。これは体験談ですが、僕は昔、他団に嫌いなスカウトがいました。彼の第一印象はうるさくて、人の話を聞かなくて、どこか偉そうな奴。そんな彼に対する印象が変わったのは、愛媛ベンチャー大会の時。こともあろうにこの大会で僕は彼と同じ班でした。やはりその時も彼はうるさくて、偉そうで、ミーティングの時も誰よりもでしゃばっていて気分は最悪でした。しかし、1日2日と活動を共にしているうちに、彼が誰よりもこの大会に、自分の仕事に真剣であることがわかり、今では良きスカウト仲間です。この経験はボーイスカウトの性質と自分がボーイスカウトを長く続けてきたことのためのものであると思っています。

富士スカウト取得がどのような意義を持つかはまだわかりませんが、ボーイスカウトを続けることは僕にとって大きな意義があると思っています。まだ富士スカウト取得のリミットまでには時間があるので、とりあえず自分のできることからやっていきたいです。

◆三原明也さん

僕は小学校5年のときからボーイスカウトを始めて今までやってきました。カブ、ボーイ、ベンチャーと色々な活動をしてきてようやくボーイスカウトとはどのようなものかというのが分かりだした気がします。

ボーイになってから少しずつ活動が楽しくなってきた上に上がるに連れて、どんどん活動が楽しくなって来たと思うようになりました自分でキャンプなどの企画をしてボーイの時とは違う体験をしました。ボーイのときとは違う体験をしました。ボーイのときは先輩スカウトやリーダーに色々教えてもらい、今は自分が教える番です。だから後輩スカウトには自分が今までしてきたことを教えて、これからの活動に活かしてもらいたいです。ボーイスカウトに入って人の役に立つことをしたり、今後の生活に活かせることをしてきました。まだ僕は半人前のスカウトですが、いつかきっと一人前のスカウトとして生きていきたいです。

八つの「おきて」の中で僕が一番率先してやっていると思うのが、スカウトは感謝の心を持つ、です。理由は、自分が生きていくということは、家族や友達、先生やリーダー、いろいろな人のおかげだと思うからです。今まで自分がしてもらったことの恩返しをいつかしたいです。そのためには、富士スカウトをとり、大人になってもボーイスカウトを続け、今まで自分がしてもらったことを後輩スカウトにすることです。それが僕なりの恩返しだと思います。

今年の夏には第23回世界スカウトジャンボリーがあります。その時僕は班長として班員に、ジャンボリーの楽しみやボーイスカウトとはどんなものかを知ってもらいたいです。新居浜であまり活動ができないけど、少ない活動が僕にとってはかけがえのないものです。1回1回を大切に今後スカウト活動に活かして、ボーイスカウトに貢献したいです。